



▼陸上競技でインターハイに出場する西山選手（左）と谷頭選手



## インターハイ出場が決定

本町出身の4選手が健闘

7月29日（木）から8月20日（金）まで沖縄県で開催されている平成22年度全国高等学校総合体育大会に、本町出身の4選手の出場が決定しました。

陸上競技（7月29日（木）～8月2日（月））では、6月に沖縄県で開催された第63回全国高校陸上競技対校選手権大会南九州陸予選会において、3,000㍊競歩で2位に入賞した谷頭聖華選手（熊本商高3年・岩下二区）と、円盤投げで4位に入賞した西山舞選手（松橋高3年・芝原区）が出場します。体操競技（8月2日（月）～4日（水））では、5月に県立

総合体育館で開催された第38回県高校総合体育大会で、あん馬、跳馬の2種目で3位に入賞した大友彰選手（学園大付高1年・津志田区）が出場します。水泳競技（8月17日（火）～20日（金））では、狩野萌選手（尚綱高3年・中横田区）が、競泳100㍊自由形、200㍊自由形、400㍊リレー、400㍊メドレーリレーの4種目に出場します。各選手の健闘を期待します。

## 武道体験で心身を鍛錬

「体験学習（空手）」で武道に挑戦

6月29日（火）甲佐中学校で、「体験学習（空手）」が行われました。

武道を通して、礼を学び心身を鍛えることで、豊かな人間形成を図ることを目的に、町教育委員会が主催。町内小・中学校を対象に、武道の体験学習を昨年度から実施しています。

同中（吉田明博校長265人）での体験学習では、講師に全日本空手道連盟上級指導員の霍本仁史さん（上豊内区）を迎え、1年生（73人）が空手を体験。礼儀やあいさつの大切さを学んだ後、空手の基本動作を繰り返し練習しました。



▲霍本さんから空手の基本動作を学ぶ甲佐中生徒たち



◀町役場を表敬訪問した保護司会の皆さん

## 安全・安心な社会を築く

「第60回社会を明るくする運動」パレード

7月5日（月）、上益城地区保護司会御船分会（浦田博会長）主催で、「第60回社会を明るくする運動」啓発パレードが行われました。同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として、全国で展開。7月は運動強調月間に当たることから、運動の一環として啓発パレードを実施。嘉島町を出発し、益城町、御船町、本町を巡回して、運動への理解と協力を呼び掛けました。本町を訪れた同会の一行37人は、町役場を表敬訪問。師富省三副町長の激励の言葉に続いて、浦田会長が「犯罪や非行を防ぎ、住みよい明るい町となるように、今後も活動に取り組みたい」とあいさつしました。

## 本町選手団は総合3位

### 第60回上益城郡民体育祭

7月18日（日）ほかに、本町を主会場として第60回上益城郡民体育祭が開催されました。

上益城郡体育協会（奥名克美会長）、郡内各町、郡内各町教育委員会が主催。

町生涯学習センターで開催された開会式では、尾形暁兵さん（中横田区）が選手宣誓しました。

本町選手団（奥名克美団長）は、17競技に234人が出場。参加した選手たちは日ごろの練習の成果を発揮。5競技で優勝を飾り、総合成績は3位。総合優勝は、6競技を制した益城町でした。



▲開会式で選手宣誓をする尾形さん（中央）



▲交通安全を願って、七夕の歌を歌う園児たち

## 七夕に交通安全を願って

### 若草保育園で「七夕交通安全運動」出発式

7月5日（月）若草保育園（元村伴子園長79人）で、交通安全キャンペーン「織姫・彦星セーフティ七夕作戦」出発式が開催されました。同キャンペーンは、交通事故が多発する夏場を控えて交通安全を呼び掛けるために、7月5日（月）～15日（木）に、御船警察署、管内4町、御船地区交通安全協会などが実施。出発式には、園児や交通関係者など約120人が参加。園児たちは交通安全を願って、七夕の歌を披露。織姫と彦星に扮した園児が代表して、「道路には飛び出しません。横断するときは、よく見て渡ります」と交通安全宣言をしました。

式に続いて、国道443号の熊本バス車庫前（岩下）で、園児たちは運転者に交通安全を呼び掛けました。

## 七夕飾りに願いを込めて

### 乙女小まつやま塾



▲乙女小学校の敷地内にある乙女福祉ふれあいセンターで開催される「乙女小まつやま塾」では、地域住民の皆さんに習って七夕飾りを制作

7月7日（水）乙女福祉ふれあいセンターで、「甲佐町放課後子ども教室・乙女小まつやま塾」が行われ、七夕飾りを制作しました。

同教室は、放課後に小学校の余裕教室などを利用して、地域住民の参加や協力を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動、地域との交流活動などを実施。子どもたちが心豊かにはぐくまれる環境を作ることが目的に、町教育委員会が主催。

地域住民の中から委嘱された学習指導コーディネーターなどの指導者の指導の下、毎週水・金曜日午後3時30分から午後5時まで、同センターを中心に活動。自主学習や宿題に取り組む学習活動のほか、農作物の栽培や伝承遊びなどに取り組む体験活動などを今年度は計画して、乙女小学校（河原邦博校長140人）の児童を対象に開校しています。

この日は、折り紙などを使って七夕飾りを制作。ボランティアなどの皆さんに作り方を習いながら、折り紙を丁寧に折ってはさみを入れて飾り作り。短冊に自分の願い事を書き込み、シュロの葉をこより代わりにして笹に結び付けて同センターに飾りました。